

仲六学習スタンダード

1. 授業の開始と終了

「礼にはじまり礼に終わる」



礼儀礼節をもって学習をはじめ、
終わることを大切にする。

は	「姿勢を正しくしましょう。」「はい」
じ	「これから〇時間目の〇〇の学習をはじめます。」「はい」
め	「よろしくお願いします。」
終	「姿勢を正しくしましょう。」「はい」
わ	「これで〇時間目の〇〇の学習を終わります。」「はい」
り	「ありがとうございました。」

2. ノートについて

「行やますを意識して」

(全学年 B5 サイズ リーダーあり)

	国語	算数
1 年生	1 2 ます	横開き 7 ます
2 年生	1 5 ます	1 c m ます
3 年生	1 2 行	
4 年生		
5 年生	1 5 行	
6 年生		

残り 5 ページのところに、
「新しいノートを用意する」と書いておくとい。

《ノートの書き方の共通事項》

(ノートの目的：記録・思考・練習)

- ① 授業の開始には、無地の下敷きをノートにはさんで準備をする。
- ② 月日をはじめに書く。
- ③ 単元名と時数/単元の総時間数を書く。
- ④ 教科書のページ数を書く。
- ⑤ めあてを書く。
- ⑥ 問題番号を書く。
- ⑦ 筆算の余白は、上下左右に 1 行ずつ空けておく。
- ⑧ 文章題の計算は、式のとなりに計算スペースを作り、計算の跡を残す。

3. 赤青鉛筆を 1～6 年まで使用

「赤青鉛筆を使って効果的に色分けする」

算数での使い方：問題文を読み、線を引く。



○わかっていることは 赤の直線



○求めることは

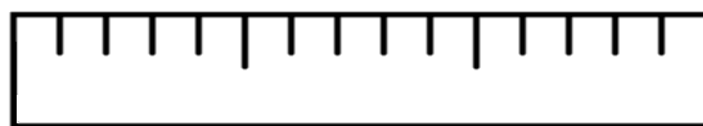
青の波線



4. 定規

「定規を使う習慣を身に付ける」

- ・ 30 cm 物差しの使い方は 2 年生の算数で学習する。
- ・ 定規の目盛り側では、線を引かない。
- ・ 筆箱の中には、15 cm 程度のものをいつも入れておき、筆算のときは、手元にこの定規を置いて使う。



常に
入れておく！

線を引くときは目盛りのない方で！！



5. 発言するとき

「返事の習慣を身に付ける」

- ・ 黙って手を挙げて指名されたら、返事をする。
 - ・ 自分の考えや答えを言った後は、
「どうですか。」と 確かめる。
 - ・ 友達の発言に、自分の言葉で 反応できるようにする。
- (例)「いいと思います。」「同じ考えです。」「少し違います。」「付け足しがあります。」「補足します。」「よくわかりました。」
など、学年の発達段階に応じて指導する。

はい！



6. 算数の用具の準備

「教室移動のために巾着袋に入れよう」

- ・ カバー付きはさみ
- ・ スティックのり
- ・ 三角定規 (3～6 年)
- ・ コンパス (3～6 年)
- ・ 分度器 (4～6 年)

